

製品情報データシート

作成日：2025年2月13日

製造者

会社：大倉電気株式会社
所在地：〒350-0269 埼玉県坂戸市につさい花みず木1-4-4
担当部門：品質保証部
連絡先：049-282-7755

製品名 P507 リン酸水素二ナトリウム + リン酸二水素カリウム

試薬を安全かつ適切に取り扱って頂くために、該当する部品のデータシート（次ページ）をご参照し、取扱い時の注意事項をお読みください。

あくまでも取り扱い上の注意に関する参考情報を提供するものであり、いかなる保証をなすものではありません。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : リン酸水素二ナトリウム
製品コード : 11752
会社名, 住所及び電話番号 : 小宗化学薬品株式会社
埼玉県行田市富士見町一丁目19番
048-556-6261
FAX番号 : 048-553-2515
メールアドレス : info@koso-chem.co.jp
推奨用途 : 試験研究, 化学工業原料
使用上の制限 : 医療用品, 食品, 家庭用品ではありません。
制定年月日 : 1993年4月1日
改定年月日 : 2022年8月17日
整理番号 : 11752-7

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

酸化性固体 : 分類できない。

金属腐食性化学品 : 分類できない。

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分に該当しない。

急性毒性(経皮) : 分類できない。

急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない。

急性毒性(吸入:粉じん) : 分類できない。

皮膚腐食性/刺激性 : 区分に該当しない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 分類できない。

呼吸器感作性 : 分類できない。

皮膚感作性 : 区分に該当しない。

生殖細胞変異原性 : 分類できない。

発がん性 : 分類できない。

生殖毒性 : 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分に該当しない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分に該当しない。

誤えん有害性 : 分類できない。

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) : 分類できない。



水生環境有害性 長期(慢性) : 分類できない。
オゾン層への有害性 : 分類できない。

GHSラベル要素

絵表示 : 非該当
注意喚起語 : 非該当
危険有害性情報 : 非該当
注意書き
一般 : 医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。
使用前にラベルをよく読むこと。
安全対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋, 保護衣, 保護眼鏡, 保護面を着用すること。
粉じんの吸入を避けること。
屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
環境への放出を避けること。
応急措置 : 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診察, 手当てを受けること。
皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。気分が悪いときは医師の診察, 手当てを受けること。
保管 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。施錠して保管すること。
廃棄 : 内容物, 容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
その他の危険有害性 : 情報なし。
重要な徴候及び想定される非常事態の概要 : 情報なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質



| | | |
|----------|---|-------------|
| 化学名又は一般名 | ： リン酸水素二ナトリウム | |
| 慣用名又は別名 | ： リン酸二ナトリウム， 第二リン酸ソーダ， 第二リン酸ナトリウム， 二塩基性リン酸ナトリウム | |
| 濃度又は濃度範囲 | ： 99.0 %以上 | |
| 化学式(分子量) | ： Na_2HPO_4 | FW : 141.96 |
| CAS RN ® | ： 7558-79-4 | |
| 化審法番号 | ： 1-497 | |
| 安衛法番号 | ： 公表 | |

4. 応急措置

| | |
|-----------------------|--|
| 吸入した場合 | ： 被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。 |
| 皮膚に付着した場合 | ： 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。 |
| 眼に入った場合 | ： 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。 |
| 飲み込んだ場合 | ： 無理に吐かせないこと。口をすすぐこと。直ちに医師に連絡すること。 |
| 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 | ： 目， 皮膚を刺激する可能性あり。 |
| 応急処置をする者の保護に必要な注意事項 | ： 救援者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用すること。 |
| 医師に対する特別な注意事項 | ： 情報なし。 |

5. 火災時の措置

| | |
|-----------------------|--|
| 適切な消火剤 | ： 本品は不燃性であるため、周辺火災に適した消火剤を用いる。 水， 粉末， 二酸化炭素， 乾燥砂， 泡 |
| 使ってはならない消火剤 | ： 特になし。 |
| 火災時の特有の危険有害性 | ： 情報なし。 |
| 特有の消火方法 | ： 周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、周辺に散水して冷却する。 この製品自体は、燃焼しない。 |
| 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 | ： 防火保護衣， 手袋， ゴム長靴及び空気呼吸器等を着用する。 防火保護具を着用し、風上から作業する。 |

6. 漏出時の措置



- 人体に対する注意事項, 保護具 及び緊急措置 : 全ての着火源を取り除く。
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
風上から作業し、風下の人を退避させる。
漏出した区域にロープを張るなどして漏洩区域として隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。
密閉された場所に立ち入る前に換気する。
作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸収を避ける。
- 環境に対する注意事項 : 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 危険でなければ漏れを止める。
不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学薬品廃棄容器に入れる。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものは、速やかに取り除く。
漏出物に接触しない。
排水溝, 下水溝, 地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
ばく露を防止するため、装置の密閉化又は局所排気装置を設置し、局所排気、全体換気を行うこと。
- 安全取り扱い注意事項 : すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
飲み込みを避けること。
皮膚との接触を避けること。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

接触回避

衛生対策

- : 酸化剤
- : 適切な保護具, 保護衣, 保護手袋, 保護眼鏡, 保護帽を使うこと。
貯蔵ないし取り扱う作業場の整理整頓を図ること。
取り扱い後はよく手を洗うこと。

保管

- 安全な保管条件 : 容器を密閉して冷乾所にて保存すること。換気の良いところで保管すること。施錠して保管すること。



安全な容器包装材料 : ガラス, ポリエチレン, ポリプロピレンなど。

8. ばく露防止及び保護措置

| | |
|------------|---|
| 管理濃度 | : 未設定 |
| 許容濃度 | : 日本産衛学会(2016年) 未設定 ACGIH(2015年) 未設定 |
| 設備対策 | : この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置し、周知させること。装置の密閉化又は局所排気装置を設置し取り扱うこと。 |
| 保護具 | |
| 呼吸用保護具 | : 保護マスク, 送気マスクなどを着用すること。 |
| 手の保護具 | : 化学薬品に耐性のある材質でできた保護手袋を着用すること。 |
| 眼, 顔面の保護具 | : 保護メガネ, ゴーグル, 面体などを着用すること。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | : 適切な保護衣を着用すること。 |
| 特別な注意事項 | : 情報なし。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|------------------------|--|
| 物理状態 | : 粉末 |
| 色 | : 無色～白色 |
| 臭い | : 無臭 |
| 融点/凝固点 | : 240 °C(分解) |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | : 分解 |
| 可燃性 | : この製品自体は、燃焼しない。 |
| 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 | : この製品自体は、燃焼しない。 |
| 引火点 | : この製品自体は、燃焼しない。 |
| 自然発火点 | : この製品自体は、燃焼しない。 |
| 分解温度 | : 240 °C |
| pH | : 8.9～9.3(50 g/L, 25 °C) |
| 動粘性率 | : データなし。 |
| 溶解度 | : 水に溶けやすい(9.3 g/100 mL(20 °C), 82.5 g/100 mL(50 °C))。 エタノールにほとんど溶けない。 |
| <i>n</i> -オクタノール/水分配係数 | : データなし。 |
| 蒸気圧 | : データなし。 |
| 密度及び/又は相対密度 | : 1.52 g/mL (20 °C) |
| 相対ガス密度 | : データなし。 |
| 粒子特性 | : データなし。 |
| その他のデータ | : データなし。 |



10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|-----------------------|
| 反応性 | : 酸性物質と反応する。 |
| 化学的な安定性 | : 通常条件で安定である。 |
| 危険有害反応性 | : 酸化剤と接触すると反応することがある。 |
| 避けるべき条件 | : 高温及び直射日光 |
| 混触危険物質 | : 酸化剤 |
| 危険有害な分解生成物 | : 情報なし。 |

11. 有害性情報

急性毒性

| | |
|----------------------|---|
| 経口 | : ラット 経口 LD ₅₀ =17000 mg/kg 以上により区分に該当しないとした。 |
| 経皮 | : 情報が不十分なため分類できない。 |
| 吸入(ガス) | : 分類対象外のため区分に該当しない。 |
| 吸入(蒸気) | : 情報が不十分なため分類できない。 |
| 吸入(粉じん) | : 情報が不十分なため分類できない。 |
| 吸入(ミスト) | : 分類対象外のため区分に該当しない。 |
| 皮膚腐食性/刺激性 | : 本品は医薬品および食品添加物として使用されており、また水溶液のpHは弱アルカリ性であることから区分に該当しないとした。 |
| 眼に対する重篤な 損傷性/眼刺激性 | : 情報が不十分なため分類できない。 |
| 呼吸器感作性/皮 膚感作性 | : 呼吸器感作性として 情報が不十分なため分類できない。 皮膚感作性として 本品は医薬品および食品添加物として使用されていることから区分に該当しないとした。 |
| 生殖細胞変異原性 | : 情報が不十分なため分類できない。 |
| 発がん性 | : 情報が不十分なため分類できない。 |
| 生殖毒性 | : 情報が不十分なため分類できない。 |
| 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) | : 本品は医薬品および食品添加物として使用されていることから区分に該当しないとした。 |
| 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) | : 本品は医薬品および食品添加物として使用されていることから区分に該当しないとした。 |
| 誤えん有害性 | : 情報が不十分なため分類できない。 |

12. 環境影響情報

生体毒性



- 水生環境有害性 (急性) : 情報が不十分なため分類できない。
- 水生環境有害性 (長期間) : 情報が不十分なため分類できない。
- 残留性・分解性 : 情報が不十分なため分類できない。
- 生体蓄積性 : 情報が不十分なため分類できない。
- 土壌中の移動性 : 情報が不十分なため分類できない。
- オゾン層への有害性 : 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた専門の廃棄物処理業者もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を依頼する。
- 汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

- 国連番号 : 非該当
- 海洋汚染物質 : 非該当
- 国内規制
- 海上規制情報 : 非該当
- 航空規制情報 : 非該当
- 陸上規制情報 : 非該当
- 特別な安全対策 : 運搬に際しては直射日光をさけ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

- 国内適用法令
- 労働安全衛生法 : 非該当
- 化管法(PRTR法) : 非該当
- 毒物及び劇物取締法 : 非該当
- 消防法 : 非該当
- 船舶安全法 : 非該当
- 航空法 : 非該当
- 既存化学物質リスト
- アメリカ TSCA : 収載



EU EINECS/ELINCS : 231-448-7

EU REACH : 非該当

16. その他情報

参考資料 : 化学物質総合情報提供システム 独立行政法人製品評価技術基盤機構
化学大辞典 共立出版 (1963)
JISハンドブック48試薬 日本規格協会
17019の化学商品 化学工業日報社 (2019)
原料メーカーから提供されたSDS情報
等

免責事項 : 本SDSは弊社が信頼できるとものと判断した情報をもとにJIS Z7252:2019およびJIS Z7253:2019に準拠し作成したのですが、正確性を保証したり何ら責任を負うものではありません。

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意して下さい。

注意事項は通常の手続きを対象としたもので、特殊な取り扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱いをお願いします。

本SDSの情報は最新を確保するために適宜更新致しますのでご了承下さい。



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

| | |
|---------------|--|
| 製品名 | : リン酸二水素カリウム |
| 製品コード | : 13060 |
| 会社名, 住所及び電話番号 | : 小宗化学薬品株式会社 埼玉県行田市富士見町一丁目19番 048-556-6261 |
| FAX番号 | : 048-553-2515 |
| メールアドレス | : info@koso-chem.co.jp |
| 推奨用途 | : 試験研究, 化学工業原料 |
| 使用上の制限 | : 医療用品, 食品, 家庭用品ではありません。 |
| 制定年月日 | : 1993年4月1日 |
| 改定年月日 | : 2022年8月17日 |
| 整理番号 | : 13060-7 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

酸化性固体 : 分類できない。

金属腐食性化学品 : 分類できない。

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分4

急性毒性(経皮) : 分類できない。

急性毒性(吸入: 蒸気) : 分類できない。

急性毒性(吸入: 粉じん) : 分類できない。

皮膚腐食性/刺激性 : 区分に該当しない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 分類できない。

呼吸器感作性 : 分類できない。

皮膚感作性 : 分類できない。

生殖細胞変異原性 : 分類できない。

発がん性 : 分類できない。

生殖毒性 : 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない。

誤えん有害性 : 分類できない。

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) : 分類できない。



水生環境有害性 長期(慢性) : 分類できない。
 オゾン層への有害性 : 分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 警告
 危険有害性情報 : 飲み込むと有害
 注意書き
 一般 : 医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。
 使用前にラベルをよく読むこと。
 安全対策 : 取扱い後は手をよく洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 応急措置 : 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。
 保管 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。施錠して保管すること。
 廃棄 : 内容物、容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
 その他の危険有害性 : 情報なし。
 重要な徴候及び想定される非常事態の概要 : 情報なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質
 化学名又は一般名 : リン酸二水素カリウム
 慣用名又は別名 : 酸性りん酸カリウム, 第一りん酸カリウム, 重りん酸カリウム, リン酸一カリウム
 濃度又は濃度範囲 : 99.0 %以上
 化学式(分子量) : KH_2PO_4 *FW* : 136.09
 CAS RN ® : 7778-77-0
 化審法番号 : 1-452
 安衛法番号 : 公表

4. 応急措置

吸入した場合 : 被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。



- 皮膚に付着した場合 : 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないこと。口をすすぐこと。直ちに医師に連絡すること。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 眼、皮膚および呼吸器を刺激する。
- 応急処置をする者の保護に必要な注意事項 : 救援者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用すること。
- 医師に対する特別な注意事項 : 情報なし。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 本品は不燃性であるため、周辺火災に適した消火剤を用いる。水、粉末、二酸化炭素、乾燥砂、泡
- 使ってはならない消火剤 : 特になし。
- 火災時の特有の危険有害性 : 情報なし。
- 特有の消火方法 : 周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、周辺に散水して冷却する。
この製品自体は、燃焼しない。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 防火保護衣、手袋、ゴム長靴及び空気呼吸器等を着用する。防火保護具を着用し、風上から作業する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 : 全ての着火源を取り除く。
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
風上から作業し、風下の人を退避させる。
漏出した区域にロープを張るなどして漏洩区域として隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。
密閉された場所に立ち入る前に換気する。
作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸収を避ける。
- 環境に対する注意事項 : 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。



- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 危険でなければ漏れを止める。
不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学薬品廃棄容器に入れる。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものは、速やかに取り除く。
漏出物に接触しない。
排水溝, 下水溝, 地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
ばく露を防止するため、装置の密閉化又は局所排気装置を設置し、局所排気、全体換気を行うこと。
- 安全取扱い注意事項 : すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
飲み込みを避けること。
皮膚との接触を避けること。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- 接触回避 : 酸化剤
- 衛生対策 : 適切な保護具、保護衣、保護手袋、保護眼鏡、保護帽を使うこと。
貯蔵ないし取り扱う作業場の整理整頓を図ること。
取り扱い後はよく手を洗うこと。

保管

- 安全な保管条件 : 容器を密閉して冷乾所にて保存すること。換気の良いところで保管すること。施錠して保管すること。
- 安全な容器包装材料 : ガラス, ポリエチレン, ポリプロピレンなど。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 未設定
- 許容濃度 : 日本産衛学会(2016年) 未設定
ACGIH(2015年) 未設定
- 設備対策 : この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置し、周知させること。装置の密閉化又は局所排気装置を設置し取り扱うこと。
- 保護具
- 呼吸用保護具 : 保護マスク, 送気マスクなどを着用すること。



- 手の保護具 : 化学薬品に耐性のある材質でできた保護手袋を着用すること。
眼, 顔面の保護具 : 保護メガネ, ゴーグル, 面体などを着用すること。
皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用すること。
特別な注意事項 :

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 結晶または結晶性粉末
色 : 無色～白色
臭い : 無臭
融点/凝固点 : 252 °C
沸点又は初留点及び沸点範囲 : 分解(253 °C)
可燃性 : この製品自体は、燃焼しない。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : この製品自体は、燃焼しない。
引火点 : この製品自体は、燃焼しない。
自然発火点 : この製品自体は、燃焼しない。
分解温度 : 253 °C
pH : 4.2～4.5(50 g/L, 25 °C)
動粘性率 : データなし。
溶解度 : 水に可溶(14.8 g/100 g(0 °C), 83.5 °C/100 g(90 °C)), エタノールに難溶
n-オクタノール/水分配 : データなし。
係数
蒸気圧 : データなし。
密度及び/又は相対密度 : 2.338
相対ガス密度 : データなし。
粒子特性 : データなし。
その他のデータ : 加熱すると204 °Cで分子内脱水が始まり、258 °Cで強い吸熱反応が起こり、水分を急激に失って、400 °C以上でメタリン酸カリウムとなる。

10. 安定性及び反応性

- 反応性 : アルカリ性物質と反応する。
化学的な安定性 : 通常条件で安定である。
危険有害反応性 : 酸化剤と接触すると反応することがある。
避けるべき条件 : 高温及び直射日光
混触危険物質 : 酸化剤
危険有害な分解生成物 : リン酸化物



11. 有害性情報

急性毒性

- 経口 : ラット 経口 LD₅₀=1700 mg/kg
以上より区分4に該当するとした。
- 経皮 : 情報が不十分なため分類できない。
- 吸入(ガス) : 分類対象外のため区分に該当しない。
- 吸入(蒸気) : 情報が不十分なため分類できない。
- 吸入(粉じん) : 情報が不十分なため分類できない。
- 吸入(ミスト) : 分類対象外のため区分に該当しない。
- 皮膚腐食性/刺激性 : 水溶液は弱酸性であり皮膚に対する刺激性は少ないため区分に該当しないとした。
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 情報が不十分なため分類できない。
- 呼吸器感作性/皮膚感作性 : 情報が不十分なため分類できない。
- 生殖細胞変異原性 : 情報が不十分なため分類できない。
- 発がん性 : 情報が不十分なため分類できない。
- 生殖毒性 : 情報が不十分なため分類できない。
- 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 情報が不十分なため分類できない。
- 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 情報が不十分なため分類できない。
- 誤えん有害性 : 情報が不十分なため分類できない。

12. 環境影響情報

生体毒性

- 水生環境有害性(急性) : 情報が不十分なため分類できない。
- 水生環境有害性(長期間) : 情報が不十分なため分類できない。
- 残留性・分解性 : 情報が不十分なため分類できない。
- 生体蓄積性 : 情報が不十分なため分類できない。
- 土壤中の移動性 : 情報が不十分なため分類できない。
- オゾン層への有害性 : 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意



- 残余廃棄物 : 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた専門の廃棄物処理業者もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を依頼する。
- 汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

- 国連番号 : 非該当
海洋汚染物質 : 非該当
国内規制
海上規制情報 : 非該当
航空規制情報 : 非該当
陸上規制情報 : 非該当
特別な安全対策 : 運搬に際しては直射日光をさけ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

国内適用法令

- 労働安全衛生法 : 非該当
化管法(PRTR法) : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
消防法 : 非該当
船舶安全法 : 非該当
航空法 : 非該当
海洋汚染防止法 : 非該当

既存化学物質リスト

- アメリカ TSCA : 収載
EU EINECS/ELINCS : 231-913-4
EU REACH : 非該当

16. その他情報



参考資料 : 化学物質総合情報提供システム 独立行政法人製品評価技術基盤機構
化学大辞典 共立出版 (1963)
JISハンドブック48試薬 日本規格協会
17019の化学商品 化学工業日報社 (2019)
原料メーカーから提供されたSDS情報
等

免責事項 : 本SDSは弊社が信頼できるとものと判断した情報をもとにJIS Z7252:2019およびJIS Z7253:2019に準拠し作成したのですが、正確性を保証したり何ら責任を負うものではありません。

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意して下さい。

注意事項は通常の手続きを対象としたもので、特殊な取り扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱いをお願いします。

本SDSの情報は最新を確保するために適宜更新致しますのでご了承下さい。

